

# 住中だより

第4号 令和2年5月11日発行

大東市立住道中学校

校長 岡本 功

072-872-7351

HP 毎日更新しています!

## 『落ち着いた環境のもと、子どもたちが自分の良さを存分に発揮できる学校』をめざします

まだ、臨時休業期間中であり、本格的な学校再開には至ってはいませんが、登校日という形で、ようやく生徒の皆さんに会うことができ、たいへんうれしく思っています。

本校、教職員一同、この日を心から待ち望んでいました。

思いもよらない臨時休業ではありましたが、住中生の元気な姿が何よりの喜びです。「学校という場所は生徒がいてこそ学校である」ということを実感した年度初めでした。

当面、新型コロナウイルス感染症予防に気を配り、「新しい生活様式」を意識しながらの学校生活となりますが、まずは生徒が生活リズム・習慣を定着させることに主眼をおき、学校として着実に前進してまいります。

さて、価値観が多様化している社会にあって、保護者の皆さんの学校に対するニーズも千差万別であると思えますし、また「公」と「私」の区別があまりなくなってきている時代です。しかしながら、学校にまず期待されているのはいつの時代も「落ち着き」であると考えています。

落ち着いているからこそ、子どもたちは安心して学校生活を送り、互いに切磋琢磨し、自分の良さや可能性を伸ばしていくことができます。

生徒の頑張りや、保護者・地域の皆様方のご支援、そして教職員の一致した取組みによって、ここ数年、落ち着いた状態を継続している本校でありますが、進化の歩みを止めることなく、

◎「不易」と「流行」を見極めながら、 ◎方針を明確にし、  
◎教職員が一致し、 ◎情報は積極的に発信して、  
一層の成果をあげていきたいと考えています。

昨今、公立学校への期待と不信が相まっている風潮がありますが、「人は多様な人との営みの中でしか鍛えられないし、成長しない」というのが私の考えです。それだけに公立学校が背負う責任と存在意義の重さを感じます。

思春期の子どもの成長は必ずしも直線的ではありませんし、400名以上

もの生徒が共に学習する学校ですから課題が全くないということはないにせよ、多くの生徒に、保護者の方に「住中でよかった」「地元の中学校に通わせてよかった」と思っていただけ『住中らしい』学校づくりに向けて、教職員一同全力を尽くしてまいります。

子どもたちにとってはかけがえのない3年間。一人一人を大切に思い、期待するからこそ、子どもたちが安心して伸びてゆく、かけがえのない居場所として、冷たくない厳しさと甘やかさない優しさをもって指導・支援をしてまいりますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

## 【今年度、住中が重点的に取り組むこと】

### ① 学び合いのできる人間関係の構築をめざします

- ・全学級において班活動を中心に、仲間づくりのための取り組みを一致して展開します。
- ・「学び合い・認め合い・高め合い」のできる人間関係をめざして、学級づくりや生徒会活動等を進めます。

### ② 学力のさらなる向上をめざします

- ・わかりやすい授業のために教職員も積極的に研修を行い、努力します。
- ・「住中スタディ」・「放課後まなび舎」で基礎学力・意欲を伸ばします。
- ・家庭学習の充実のために「家庭学習ノート」を実施します。

### ③ 行事(体育大会・合唱コンクール等)や部活動で生徒を伸ばします

- ・仲間づくりの機会にします。
- ・個を鍛える機会にします。
- ・豊かな人間性を育成する機会にします。

### ④ 信頼関係の構築に努め、丁寧な生徒指導を心がけます

- ・「あいさつがあふれる住中」を継続します。
- ・努力している生徒が正当に評価され、報われる学校をめざします。
- ・問題行動については、方針に基づいて毅然とした対応、丁寧な指導を行います。
- ・家庭、関係機関との連携を一層密にします。

### ⑤ 開かれた学校づくりを継続します

- ・ホームページ、各種通信、各種説明会などで情報発信をします。(ブログ形式のHPIは毎日更新しています。)
- ・ともに当事者として考えていただくために、情報はオープンにします。
- ・保護者の方の参観はいつでもオープンです。どうぞご来校ください。

